通信ともに
第80号
2020年6月15日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

だはしみ　まめちしき

*1マルメロはカリンと混同しがちですが違う果樹です。果実は生で食べられず、酒漬けやジャムにすることが多いです。

今月の一枚

マルメロ*1の花　かれんに咲く

6月7日撮影

通常総会　書面で原案可決

今年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として書面表決としました。5月15日各正会員に議案書を発送し、書面表決書（はがき）の返送による採決をおこないました。結果全員承認をいただき、本案は原案通り可決しました。

昨年度の会計は入居者・利用者増による事業収入の増加でいくぶん改善しました。しかし新型コロナウイルス対策による収入減や支出増で盤石な経営とはいえない状況が続いています。

支援面では就労移行支援事業で4人の方が就職し全員就職先でがんばっています。新規利用者は就労移行支援3人、継続Ｂ型8人、グループホーム3人です。今年度も支援の充実を目指してまいります。

次ページに昨年度事業報告、本年度事業計画の詳細を記しています。今年度も引き続きみなさまからのご支援、ご協力をお願いいたします。

令和元年度会計決算

経常収益	91,035,480円
経常費用	89,230,137円
当期正味財産増減額	1,805,343円
前期繰越正味財産額	51,138,930円
次期繰越正味財産額	52,944,273円
☆固定資産	94,285,647円
☆長期借入金	58,673,975円

だはしみ　まめちしき

*4アルベール・カミュ　人間を襲うさまざまな「不条理」を鋭く描き、57年にノーベル文学賞を受賞。タレントのセイン・カミュは彼の遠い親戚。

ご寄付に感謝いたします

(株)倶知安機工　岡本洋子さま

法人発足当初から正会員としてご尽力いただきました故岡本弘さまのご遺志として、金５万円のご寄付をいただきました。ご厚意に感謝するとともに、謹んで弘さまのご冥福をお祈りいたします。

㈳北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部
山麓支部会会長　船場英雄さま

ご自身が育てたじゃがいも（きたあかり）を合計250㎏寄付していただきました。一部を町内の複数の障がい者事業所へ。各所でとても喜ばれました。

鳩の会（みんじんかい）さま／民仁会さま

倶知安町内の民生委員の方が結成している団体で、女性が「鳩の会」、男性が「民仁会」です。

マスク不足のおり、メンバーのみなさん手づくりの布マスクを30枚、倶知安町福祉医療課を通じて寄付していただきました。後日「鳩の会」さまから再び布マスクを15枚いただいています。

みなさまご寄付ありがとうございます。これからもみなさまのご寄付を受け付けております。よろしくお願いいたします。

精神科医　土田正一郎の

その64　誕生日

5月25日は私の誕生日である。この日は私の母親が命懸けで頑張ってくれた記念日であり、周囲に支えられてまた1年間を何とか生き延びたことを確認する日である。

そういうことなので、「おめでとう」と言われるとなんだかピンと来ない。「有難う」の方が似合う日であったりする。

各事業報告〜5月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約／移行5人、Ｂ型23人
見学／1人、体験／0人

グループホーム よろこび
利用者数　22人
見学／0人、体験／0人

K.S.C. Juntos
当事者選手　13人
サポートスタッフ　18人

◆法人会員　正会員20人、賛助会員　団体5　個人78人
◆今年度寄付金　のべ4人　64,000円
◆寄付物品　牛乳パック、珈琲豆

編集後記

1947年にフランスの作家、アルベール・カミュ*4が書いた「ペスト」は、今読んでも古さを感じず、今を予言してるかのようです。ウイルスは怖いですが、パニックに陥った人間もまた脅威です。混乱を生み出すのも、団結し解決するのも同じ人間です。正しい知識と冷静な判断で今の難局を乗り切りましょう。（かわさき）

だはしみ まめちしき

*2法人や各事業所が例年主催・参加しているイベント開催状況は、次号でくわしくお伝えします。

今年度　当法人の羅針盤

法人全体　今年度おもなイベント中止

今年は法人活動および各事業活動を整備し、持続できる体制づくり、体力づくりを強化していきます。

一方で新型コロナウイルス感染症対策により「わっくわくまつり」や「法人講演会」などのイベントを今年度は中止*2することにしました。楽しみにしていただいたみなさまには申しわけございませんが、ご理解をよろしくお願いいたします。

法人の経営存続と職員の働きやすさをめざし、社会保険労務士の協力で「就業規則」や「給与規程」などの各種規程を見直しました。また「非常勤職員就業規則」「個人情報保護規程」といった新規規程も作成し、今年6月から運用します。

昨年度活動
- ☆会員数　正会員21人、賛助会員6団体83人
- ☆年度寄付金額　1,328,000円
- ☆広報活動　通信ともに10回刊、ブログ更新
- ☆職員の講師派遣　2回（江別市、京極町）

今年度の活動
- ☆講演会・研修会活動
  - ・みんなで学ぼうシリーズ　毎月第2水曜日に固定化
  - ・たね塾　6月～11月開催予定（5月は中止）
  - ・くらっぷ　偶数月第4水曜日
  - ※いずれも感染症対策を徹底の上開催し、状況により中止する場合があります。
- ☆地域連携活動
  - ・羊蹄山ろく自立支援協議会
  - ・後志圏域地域生活移行支援協議会
  - ・後志保健医療福祉圏域連携推進会議
  - ・北海道中小企業家同友会　ほか

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい　就職者と工賃の増加を

就労移行支援は今年度も就職者を出すことを目標に支援を続けていきます。また就労継続支援B型は平均工賃月額1万円以上を維持していきます。昨年度就労移行支援事業から切り離された就労定着支援については、今後の事業化に向けて検討し、体制づくりをおこないます。

新型コロナウイルス感染症を一種の「災害」ととらえ、指針を策定しマニュアル化しました（次ページ）。消毒対策や利用者の作業時間と内容、職員の感染予防につとめます。

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい
昨年度事業活動（カッコ内は前年度比）

☆就労移行支援事業（開所263日）	
一日平均利用者数	2.7人（+1.3人）
3月末時点の利用登録者	2人
新規登録者	3人
就職退所者	4人
☆就労継続支援B型（開所263日）	
一日平均利用者数	12.9人（+1.4人）
3月末時点の利用登録者	23人
新規登録者	8人
☆工賃平均月額	11,794円（+3,373円）
☆工賃時給換算	302.9円（+73.9円）

グループホームよろこび　支援体制の強化

入居者支援の充実に向け、職員体制を見直します。新型コロナウイルス対策は今後の拡大防止も含め、現在マニュアルを策定しています。感染予防とともに、入居者の心のケアにもつとめます。

ニーズ増加にともなう新居開拓については、来年度以降に本格的な検討をしていきます。

グループホームよろこび
昨年度事業活動（カッコ内は前年度比）

3月末時点の利用登録者	22人（+3人）
新規登録者	3人
退去者	0人

K.S.C. Juntos　事業の発展に向けて

選手やサポートスタッフの増員を目指し、計画を立案していきます。特に選手と事業の支援をするサポートスタッフの役割について明確化し、事業を持続できるようにしていきます。

今年度も「ソーシャルフットボールともにカップ」の開催や各種遠征を計画していますが、状況により中止や延期の場合があります。

昨年度事業活動
- ☆大会主催
  - ・第4回ともにカップ（京極町体育館）
- ☆大会遠征
  - ・チャンピオンズカップ（札幌東区体育館）
  - ・サポーターズカップ（札幌東区体育館）
- ☆選手遠征
  - ・ソーシャルフットボール全国大会（選手2人）

今年度の活動
- ・第5回ともにカップ（秋ごろを予定）

新型コロナ予防対策 COVID-19　行動指針定める

新型コロナウイルス関連
当法人の動向（4月～5月）

4月16日	政府、全国に対し緊急事態宣言を発表
4月17日	ワークショップようてい（WS）、行動指針を話し合う
4月20日	カフェわっくわく、緊急事態宣言を受け臨時休業
4月22日	法人全体の行動指針を策定し、即日施行
4月29日	緊急事態宣言下の大型連休、各入居者・利用者、職員に外出自粛と予防徹底を要請する（～5月6日）
5月18日	カフェわっくわく、営業を再開（下記記事参照）
5月25日	政府、緊急事態宣言を解除 WS行動指針を見直す

4月16日発表された「緊急事態宣言」状況下でしたが社会福祉施設は「感染対策を徹底した上で事業を継続するように」との通達がありました。当法人では感染対策として段階を設定し、その段階にあった行動指針を定めて活動しています。「緊急事態宣言」下では第２段階で活動しました。今後の状況に応じて適宜見直していきます。

4月22日策定分	行動指針内容
第1段階　平常時	● 職員の体温測定、マスク着用を義務付け
第2段階　緊急事態宣言時	● 支障ない範囲で職員時短勤務を実施 ● 業務時のソーシャルディスタンス*3に努める
第3段階　利用者・入居者、職員家族感染時	● 本人は症状なくても2週間自宅待機 ● （WS）必要あれば部門単位の閉所をする ● （GH）WS職員へ業務応援を要請する
第4段階　利用者・入居者本人、職員感染時	● GHを除いて閉所し、可能な限り自宅勤務する ● 行政と連携して対策を実施する

だはしみ まめちしき

*3利用者作業や職員業務中はイスや机を離し、換気を十分にした上で活動しました。

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい　畑作業＆マスク販売

農業部は畑作業が本格的に始まりました。今年は暖冬だったものの雪解け水が思うように引かず、植え込み作業はいつもより遅い5月下旬から始まりました。

［左］にんにくの苗（5月15日撮影）
［右］4月3人が農業部に（5月12日撮影）

製造部では布マスクの製造を各所から依頼され、急ピッチで作製し販売しました。マスク不足の時期には大量の注文が入り、納品すると即完売という状態が続きました。活動自粛により他作業の売り上げが伸び悩む中、利用者工賃の重要な収入でした。

マスク不足が落ち着いた現在はカフェわっくわくでも販売中です。お求めはカフェの店員にどうぞ。引き続きご注文も受け付けております。

コミュニティカフェ わっくわく　万全対策で営業再開

コミュニティカフェわっくわくは感染症対策をおこなったうえで5月18日［月］から営業を再開しました。当面開店時間を短縮し、ドリンクとランチのみ提供しています。

玄関先などでみなさまへのお知らせを掲示しています（写真右）ので、ご協力をよろしくお願いいたします。

レジカウンターはビニールカーテンを掛けております。